

プレスリリース

2023年9月1日 株式会社 HEROIC / 玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科柴田研究室

株式会社 HEROIC と玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科柴田研究室、「人的資本可視化のためのマルチモーダルセンシング情報を用いたエンゲージメント評価に関する共同研究契約」を締結

超高齢社会の生活上のリスクを最適化し、自己実現支援を行う株式会社 HEROIC（代表取締役：野口慶太、以下「HEROIC」）とサービス情報学研究機関である玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科サービス情報学研究室（講師：柴田健一、以下「柴田研究室」）は、2023年9月1日、人的資本可視化のためのマルチモーダルセンシング情報を用いたエンゲージメント評価に関する共同研究契約を締結しました。



Tamagawa University

HEROIC は、企業の社員家族の超高齢社会特有の悩み解決を「プラットフォーム MY HEROIC（以下「MY HEROIC」）に実装する会社です。本共同研究により HEROIC 提携企業の知見とネットワークや経営資源を活用しながら柴田研究室と協働することで超高齢社会における企業の社員家族の生活上のリスクの最適化が人的資本・エンゲージメント・ESG 評価につながる要因を探り、MY HEROIC への実装を推進してまいります。

柴田研究室では、パーソナルデータを利活用した個人最適化型支援サービスおよび多様な社会フィールドでの実証評価に関する研究開発に取り組んでいます。本共同研究により、マルチモーダルセンシングに関するノウハウやスキルを活用しながら HEROIC と協働することで、エンゲージメント評価に有用な新たな知見を創出できるよう研究開発を進めてまいります。

■主な共同研究内容

人的資本のエンゲージメントを評価するための新しいアプローチとして、マルチモーダルセンシング情報に着目し、そのデータ化と活用を主に検討する。具体的には、マルチモーダルセンシング情報(例:生体情報、行動データ、環境データなど)をどのように収集・解析し、エンゲージメントの評価に結びつけるか、そして、この評価が企業の人材戦略や人的資本への投資判断にどのように役立つか、を主要な研究テーマとする。この研究を通じて、人的資本のエンゲージメントを正確に評価し、その結果を経営戦略や投資判断に反映させるための新しいフレームワークや手法の提案を行う。

【玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科サービス情報学研究室】

代表者:柴田健一

https://www.tamagawa.ac.jp/college_of_engineering/teachers/software/shibata.html

<http://brightwaltz.com>

【株式会社HEROIC】

代表者:代表取締役 野口慶太

会社HP:<https://heroic.co.jp/>

(本件に関するお問い合わせ先)

株式会社 HEROIC 広報チーム

Email: info@heroic.co.jp